

さくら市男女共同参画情報紙

らしい

第29号
2022.11.30

あなたらしく
生きられる
社会を目指して

ゆるら〜

LIKE YOU



市長・副市長との意見
交換会を開催しました

さくら博でアンケート
調査を実施しました
お土産のバルーンアートは
大人気!



市長 ✕ 副市長との 意見交換会

令和4年6月28日(火)に『市長・副市長との懇談会(市執行部とこれからの男女共同参画を考える)』を実施しました。意見交換会の内容の一部をご紹介します。

1 学校での性教育について

(委員) 学校での性教育や、父・母になるとはどんな責任があるのか教える機会が少ないと感じる。赤ちゃんと交流する事業等を行うのはどうか？

→(市長) さくら市は「母になるなら父になるならさくら市で！」を合言葉にしており、実際に15歳未満の子どもの割合が県内で一番高く、合計特殊出生率も一番高いので、積極的にそのような機会を作っていきたい。

2 子連れに配慮した避難所環境について

(委員) 災害時避難所で子連れが肩身の狭い思いをしなくてよいような仕組みを作りたい。

→(市長) 今後も自主防災組織がそれぞれの地域において、様々な状況に個別に対応が可能となるよう検討を重ねていきたいと思う。



3 ガラスの天井について

(委員) 育休を取得すると女性だけが出世が遅れていくガラスの天井がある。

→(副市長) 市役所でもキャリアの積み重ねが昇任などの基準になっているが、今後は育児中のテレワークもキャリアの一部として認める等仕組み作りを考えていきたい。また、女性に限らず男性の育休もキャリアのマイナスにならないよう、プロモーションを進めることで、市役所からさくら市内へ広げていきたい。

学校での性教育について、思春期の身体の変化や気持ちの揺れに、不安な子どもたちもいると思います。豊かなティーン時代を過ごせるよう、正しく新しい知識を伝えて頂きたいと思っています。他にも一市民として、日頃疑問に思っていることを率直にお伝えさせて頂きました。

委員 M・Y

子どもと一緒に暮らしやすい、年をとっても暮らしやすい、そんなまちづくりに向けての意見交換ができました。県外生まれの私ですが、親の転勤、学生時代の一人暮らしなど、引っ越しを数えれば合計8回！そんな中でさくら市民歴が最長となりました。一市民として、これからもできることを探して暮らしていきたいです。さくら市の未来はきっと明るい！

委員 S・U

地域コミュニティに関する

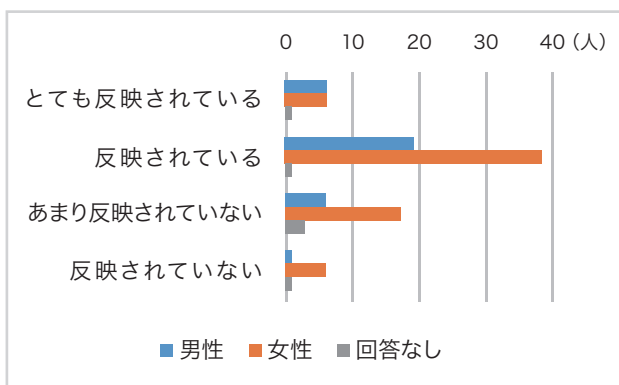
ゆめ! さくら博 2022 アンケート結果



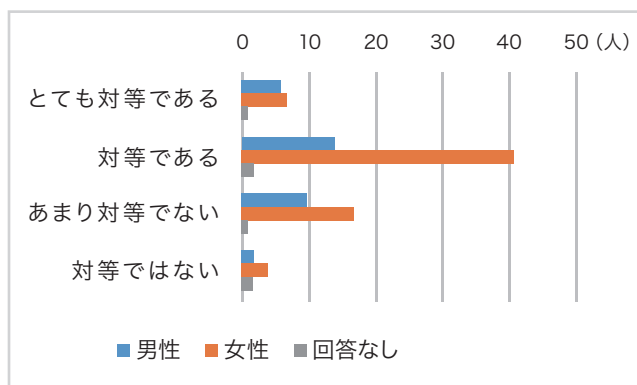
さくら市の地域づくりの場では女性も男性も平等に企画や方針決定に参画できるまちづくりを目指しています。さくら博に来場された市民の方が地域コミュニティにおける男女平等についてどのように感じているのかを調査してみました。

(調査について) アンケート回答者108名(男性32名・女性70名・性別回答なし6名)
(10代6名・20代3名・30代33名・40代14名・50代5名・60代20名・70代26名・回答なし1名)

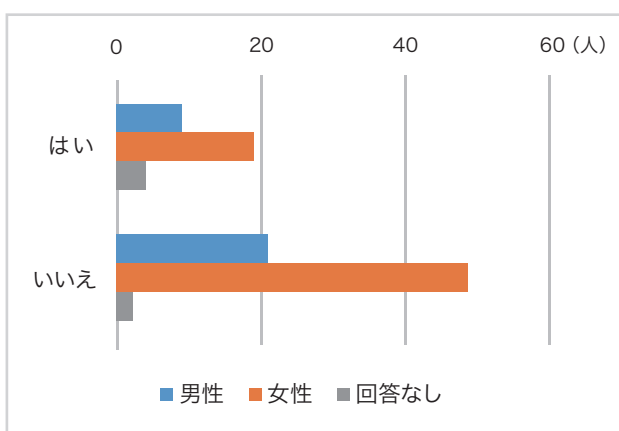
コミュニティ活動(行政区の活動等)で
問1 自分の意見は反映されていると思いますか?



コミュニティ活動(行政区の活動等)において男女の役割分担は対等だと思いますか?



地域の行事で負担に感じたことはありますか?



問3で1.はいと回答した方にお尋ねします。
どのようなことを負担に感じましたか?

- ・拘束時間が長い
- ・夜間の集会等
- ・除草活動の回数が多い
- ・敬老関係と体育行事
- ・係の負担が大きい
- ・65歳まで定年が延長された影響による役員のなり手不足
- ・祭事での男女の役割分担 女性は接待と言われた
- ・高齢のため、活動に参加できない

問1では「とても反映されている」「反映されている」の回答が女性と性別回答なしに比べ男性の回答に多く見られました。問2では男女ともに「とても対等である」「対等である」と考えている割合は回答者全体の約3分の2を占めました(性別回答なしでは半数)。問3では「拘束時間が長い」「高齢のため活動に参加できない」という回答が複数見られました。結果については今後の活動に生かしていきたいと思えます。

新委員からメッセージ

新たな2名の委員を迎えました☆

卯田 知穂 さん

私は、企業でダイバーシティ&インクルージョンの担当をしており、社員が互いの多様性を尊重し、認め合い、高め合いながら働くことができる環境づくりを行っています。このような経験が、一人一人が自分らしく生きられる社会の実現に向けて、少しでもお役に立てれば幸いです。よろしくお願い致します。

森谷 景子 さん

さくら市に越してきて14年、知らない土地での出産育児は戸惑いの連続でしたが、同じ境遇のお母さん達との出逢いや地域の皆さんの温かなサポートのおかげで何とかやって来られました。国家資格キャリアコンサルタントを取得し相談業務をする中で、もっと身近で気軽に相談できる場所があればと感じ、微力ながらさくら市の皆様のお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記 第18回『ゆめ!さくら博2022』に参加して

早朝より、まさしく秋晴れのもと、第18回『ゆめ!さくら博2022』が、開催されました。ブースが入り口付近という幸運にも恵まれたのか、10時開始で11時すぎには、準備しましたプレゼントも、ほぐ無くなってしまおうという盛況ぶりでした。始まる迄は、新型コロナが多少減少傾向とは言え、来場者が少ないのではないかと心配も致しましたが、ホッとしたのと同時に、一年ぶりでしたが実施してよかったと思った次第です。用意致しましたアンケートにも皆さん快く(プレゼントに惹かれて?)協力して頂き、大変感謝すると同時に、結果については、今後の、活動に生かすことが出来れば幸いかなと思います。新型コロナウイルスによる影響で生活様式諸々が一変した感が致しますが、逆にこの機会をチャンスとしてポジティブに考えれば、男女共同参画の意義を再認識する良い機会になったのではないかと思います。また、来年も、開催できることを期待しまして、微力ではありますが、お手伝いさせて頂ければと思います。

令和4年10月23日(K・O)

さくら市 男女共同参画推進委員募集中

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか? イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう! 老若男女問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください!

問 総合政策課 ☎681-1113

◆編集: さくら市男女共同参画推進委員会 ◆発行: さくら市総合政策部総合政策課

〒329-1392 さくら市氏家2771番地

TEL: 028-681-1113 FAX: 028-682-0360

E-mail: sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp